|  |
| --- |
| 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 法人名 | 社会福祉法人しおかぜ | 代表者 | 理事長三宅　富之 |  | 法人・事業所の特徴 | 社会福祉法人しおかぜは、特養・ショートステイ・デイサービス・訪問介護・小規模多機能や認定こども園と子供から高齢者まで、幅広く生活を支援することができます。小規模多機能では、認知症高齢者の支援に力を入れており、軽度から重度の方まで様々な状態の方に利用して頂いています |
| 事業所名 | 小規模多機能ホームやすらぎの家児島駅前 | 管理者 | 立石　裕子 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援ｾﾝﾀｰ | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
| 人 | 人 | ２人 | 人 | 1人 | 1人 | １人 | 2人 | 人 | ７人 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
| Ａ．事業所自己評価の確認 | ・コロナで運営推進会議を開催していないので、前回の改善計画は無）＜前々年度＞現在の形態を継続し、毎月のやすらぎ会議で取り組みについて確認を行い、改善計画を常に意識出来るようにする。 | ・今年度無毎月確認する事で、より意識出来る様になり、更に改善点を見つける事も出来た。 | ・難しい意見が良く出ている。・出来ている点、出来なかった点一杯書いているのでわかりにくい面がある・職員の振り返りができる良い機会でもある | ・毎月のやすらぎ会議で取り組みについて自己評価を行い、改善計画を常に意識する。 |
| Ｂ．事業所のしつらえ・環境 | ・前回の改善計画は無＜前々年度＞年間を通し花を植えたり、水やりをご利用者様の役割として一緒にする。ボードは玄関外に設置する。アロマ等で五感を刺激してみる。 | ・今年度無寄せ植えを置いたり、施設周りに種を蒔く等、玄関先が明るくなった。ボードは上手く設置できず、玄関内に飾っている。 | ・問の意味が。・外部から入ってくる事も考えられるので鍵は安全の為、かけた方が良いのでは？。・玄関先にお花があるのは、明るくきちんとしていると印象を受ける | ・寄せ植えを置いたり、施設周りに種を蒔く等、明るく気持ちよくお迎えする。 |
| Ｃ．事業所と地域のかかわり | ・前回の改善計画は無＜前々年度＞散歩を兼ね引き続きゴミ拾い実施。目先を変え、近隣施設の子供達を招き交流する機会を作ってみる。介護予防教室を実施する。 | ・今年度無ゴミ拾いはたまにで積極的に取り組めていない。小地域ケア会議は参加しているが、発信はしていない。 | ・コロナの関係もあり出来ていない。・秋祭りを実施していたが、あまり交流の場になっていない | ・散歩を兼ね引き続きゴミ拾い実施・創設１０周年記念イベントを実施し。地域の方等もお招きする。 |
| Ｄ．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み | ・前回の改善計画は無＜前々年度＞時間等の工夫をして、日常生活の中で公共施設に出向いたり、施設周辺の散歩の機会を多く持てる様に支援する。 | ・今年度無行事の外出は予定通り実施出来た。日常生活の中での施設周辺の散歩は、あまり出来ていない。時間等の工夫をしていく。 | ・少し離れた場所から利用している方もおり、他地域の人を交えた会議や地域イベントへの参加が出来ているか分からない。・個人情報の事も有り、難しい面がある。 | ・日常生活の中で公共施設に出向いたり、施設周辺の散歩の機会を多く持てる様に支援する。 |
| Ｅ．運営推進会議を活かした取組み | ・前回の改善計画は無＜前々年度＞引き続き現状の形式を維持し、情報交換しながら、地域と協働して実施できる事はないか、検討する。 | ・今年度無資料を準備し状況を詳細にお伝えしている。 | ・丁寧に説明してくれるのでわかりやすい。・事業所の様子はよく伝わっている | ・引き続き現状の形式を維持し、情報交換しながら、地域と協働して実施できる事はないか検討する。・運営推進会議時に、地域で困っている方等の情報共有をする。 |
| Ｆ．事業所の防災・災害対策 | 　・前回の改善計画は無＜前々年度＞年に１回、緊急連絡網の連絡の試験実施。地域の避難訓練にも出来る範囲で参加させて頂く。（今年度声掛け頂いたが調整つかず） | ・今年度無緊急連絡網を試験実施する。漏れが確認出来たり、事前に伝えていたが想像以上に時間がかかる等、新たな改善点も見えた。 | ・年に１回訓練有り。・来年声を掛けて頂き、参加する。・災害時、施設側が助けてもらう立場であると思う。・小地域ケア会議で、防災の勉強会や情報共有をしている。 | ・地域の避難訓練に声を掛けて頂き、出来る範囲で参加させて頂く。 |